（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援ソンリッサ

公表日　令和　8年　3月　１7日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容や子どもの状況に応じて空間の使い方を工夫しています。必要に応じてグループ分けをし、安全で落ち着いた環境の確保に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員や子どもの特性を考慮しながら職員配置を行っています。活動内容や子どもの状況に応じて役割分担を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		部屋の中の情報量を最低限にし、集中できる環境設定をしています。また、動線を考えたロッカーの配置で登所から安心して過ごせるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃や整理整頓を心がけ、心地よい生活空間の維持に努めています。活動内容に応じて机やマットの配置を工夫し過ごしやすい環境づくりをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		子どもの気持ちの高まりや疲れなどの様子に応じて落ち着ける個別のスペースを使用できるようにしています。気持ちを整え安心して活動に戻れる環境づくりをしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の職員ミーティングを通して支援内容の振り返りを行い、課題や改善点を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を通して保護者の意向やご意見を把握する機会を設けています。職員間で共有し、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な職員会議やミーティングを通して職員の意見や気付きをを伝え合える機会を設けています。共有された内容をもとに支援の質の向上に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	スーパーバイズ研修、実習生の受け入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	第三者による外部評価が行えてません。今後は外部評価を受けて業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の専門性向上を図るため、外部研修の参加や事業所内研修の機会を確保しています。研修内容は職員間で共有し、日々の支援や業務改善に活かしています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		子どもの発達や興味関心を踏まえながら月ごとのねらいを設定し支援プログラムを作成しています。保護者にも活動の意図が伝わるよう努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもの発達状況や特性についてアセスメントを行い、保護者からの聞き取りを通してニーズを把握しています。その内容をもとに作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員で情報共有や話し合いを行い、共通理解のもとで作成に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達計画書は職員間で共有し子どもの目標や支援方法について共通理解を図っています。計画に沿った支援となるよう日々のかかわりの中で意識して支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察などを通して子どもの適応行動の状況を把握しています。フォーマル・インフォーマル双方の情報を元に支援内容の検討に繋げています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ５つの視点を大切にしています。子どもの発達や課題に応じて必要な支援項目を設定し具体的な支援内容に繋げています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で子どもの様子や発達状況を共有しながらチームで検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どものその時々の興味関心を大切にしながら内容を検討しています。職員間で話し合い、多様な活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		発達状況や特性に応じて個別でのかかわりと集団活動をバランスよく取り入れた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に職員間で打ち合わせを行い、その日の活動内容や子どもの様子、役割分担について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に職員間で振り返りの時間を設け、その日の様子や子どもの変化について共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援について記録を行い、子どもの様子やかかわり方を共有しています。記録を活用しながら振り返りを行い、より良い支援に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを行い、子どもの様子や支援の効果を確認しています。その内容を踏まえて計画書の見直しの必要性を検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員や児童発達支援管理責任者が会議に参加し、子どもの状況を共有しながら関係機関との連携を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		子どもの発達状況や支援の内容について関係機関と必要に応じて情報共有を行い、支援の方向性を統一しようと努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併用利用や移行に向けて保育所、関係機関との情報共有を行い、相互理解を図りながら支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の同意を得て小学校などへ支援の内容や特性などを引き継ぎ、円滑な移行支援を行っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて専門的な視点からケースに応じたアドバイスを受けることで質の向上に努めています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園や散歩などを通して地域のこどもと関わる機会をつくるようにしています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や写真、保護者の送迎の際に日々の様子を伝達し、共通理解が深まるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者交流会（VIDAサロン）を実施し、保護者同士の交流や情報交流の機会を設けています。	

	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入所の契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について資料と口頭で説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		複数回に分けて話す機会を作り、家族が安心して意見を出せる機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画を示しながら支援のねらいや具体的な支援内容について説明を行っています。保護者の理解を得ながら同意をいただいた上で支援を進めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談や日々の連絡を通して、保護者からの子育てに関する悩みや相談を受ける機会を設けています。保護者の思いに寄り添いながら必要な助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会（VIDAサロン）を実施し、保護者同士の交流や情報交流の機会を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		こどもや保護者からの相談や申入れに対応できる体制を整えています。相談しやすい環境作りを心がけるとともに相談があった際には職員間で共有し迅速に対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやインスタグラムを活用し、日々の様子や事業所の取り組みについて発信しています。保護者に活動内容が伝わるよう情報提供に努めています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		子どもや保護者の個人情報については適切に管理し、取り扱いに十分留意しています。個人情報保護の重要性について職員間で共有し、慎重に取り扱っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの発達状況や特性に応じて分かりやすい言葉や視覚的な支援を取り入れるなど意思疎通の工夫を行っています。保護者に対しても丁寧な説明を心掛け情報が伝わりやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		秋にVIDAフェスティバルを開催し、地域とのつながりを大切にしながら事業所の活動について理解していただけるよう取り組んでいます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止緊急時対応・防犯・感染症対策等のマニュアルを整備し、職員へ周知するとともに訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害の発生に備え、火災や地震などを想定した避難訓練を定期的に行っています。子どもたちにもわかりやすく伝えながら安全に避難できるよう取り組んでいます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		子どもの健康状態について事前に把握し、職員間で情報共有を行いながら安全に配慮して支援を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書や保護者からの情報を基に状況を把握し、職員間で共有しなが対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、避難訓練や防犯訓練等を実施するとともに、職員の役割分担を明確にして安全管理に努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		安全計画に基づく取り組み内容や訓練の様子を保護者に伝え安全確保に関する理解を深めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合には記録を作成し、職員間で共有しています。原因や対応について話し合い、再発防止に向けた改善に取り組んでいます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修の機会を設け、職員が適切な支援について理解を深められるよう取り組んでいます。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ない場合の対応について検討し、職員間で共有しています。保護者にも必要な場合には説明し了承を得た上で児童発達支援計画書に掲載しています。	